

FUJITSU

shaping tomorrow with you

資料12-4

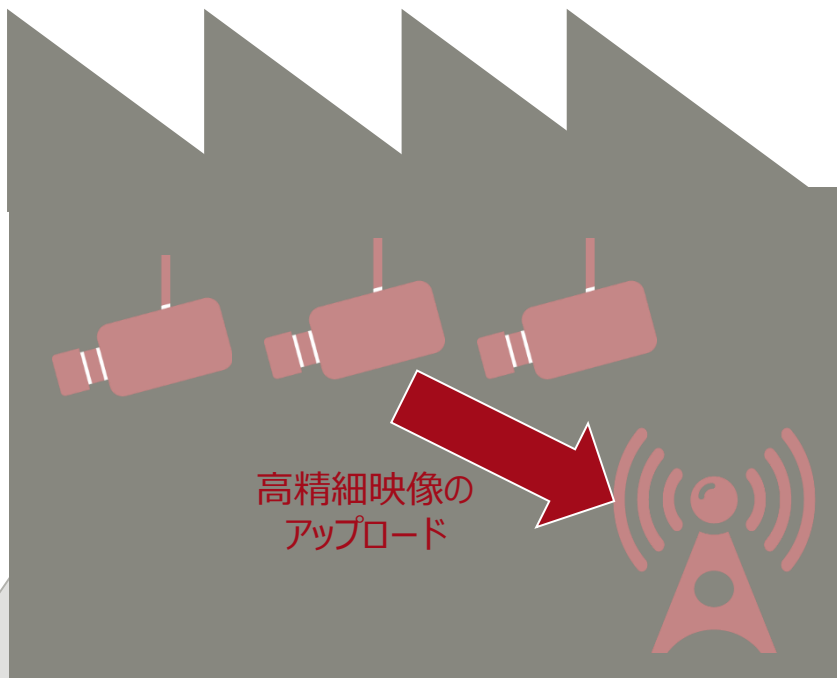
# ローカル5G 28GHz 屋外・非同期ユースケースについて

2020年3月16日  
富士通株式会社

ローカル5Gでは、屋内だけではなく屋外においても高精細な映像アップロードのニーズが高く、非同期運用の実現が期待されています。

## 敷地内屋内

- ・製造ラインの品質監視・制御
- ・建屋内の監視、記録

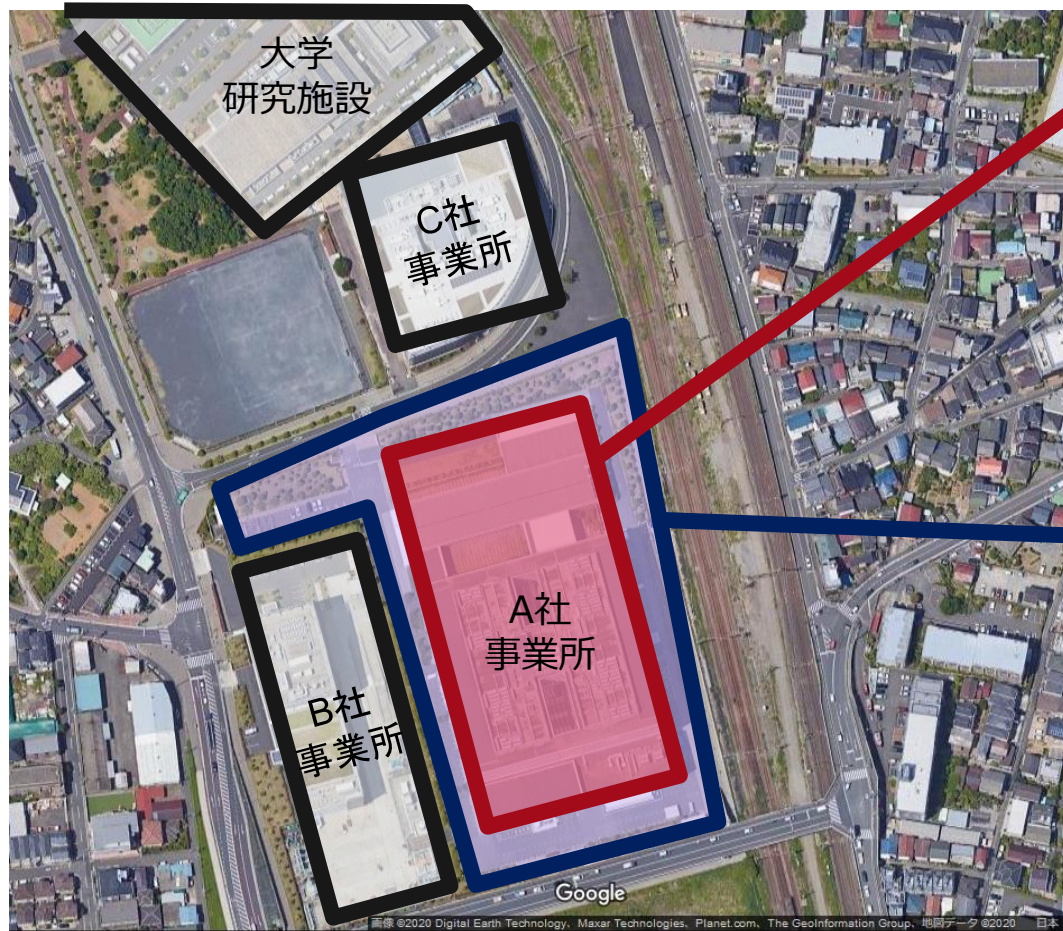


## 敷地内屋外

- ・AGV、遠隔機器の監視・記録・制御
- ・敷地内の監視、記録



当面4.5GHz帯屋外利用および非同期運用にて敷地外屋外も対応可能と想定します。  
今後、ローカル5Gの普及とともに隣接ローカル5Gとの共存を考慮した場合、28GHzの屋外非同期運用の制度化も必要と考えます



28GHz(敷地内屋内)

[現在]  
隣接通信事業者、他社ローカル5Gとは同期

[今後]  
屋内専用周波数では、適切な条件を設定した上で隣接通信事業者、他社ローカル5Gと非同期運用を可能とする。

28GHz(敷地内屋外)

[現在]  
隣接通信事業者、他社ローカル5Gとは同期

[今後]  
屋外利用可能な周波数においても、適切な条件を設定した上で隣接通信事業者、他社ローカル5Gとの非同期運用を可能とする

●適用エリア

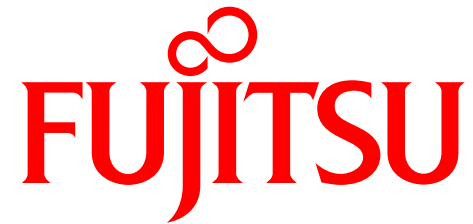
- 敷地内屋外も需要があり、非同期運用の実現が期待されている
- 狭いエリア設計が必要とされる場所については、28GHzの利用が期待されている

●多様なユースケースに対応するために

- 現在の敷地内屋外のニーズに対しては、現在検討中の4.8-4.9GHzの利用で充足できると想定
- 周波数の追加割当て(4.6-4.9GHz帯/28.3-29.1GHz帯)の着実な推進
- 今後の制度整備についても、敷地内屋外、アップリンク/ダウンリンク比率の柔軟な設定（非同期運用）を可能とすることで、多様なユースケースや今後の需要を充足できると想定

●今後の検討に向けて

- 28GHzにおいても隣接システムとの干渉は課題であるが、電波特性を考慮した実現性の高い制度設計が必要
- ニーズとともに技術動向、普及条件に合わせた検討が必要

The Fujitsu logo consists of a red infinity symbol positioned above the word "FUJITSU" in a red, serif typeface. The infinity symbol is centered over the letter 'J'.

shaping tomorrow with you